

一学校だより 2023年 6月 5日 第10号
(令和5年) (JUNE:水無月)

みはらっ子

☆教育目標「気づく つながる 創り出す」～認め合い 学び合い 高め合う児童～
三原小学校(46-2628) 文責 嵐

四国地方が梅雨入りしたとみられる ～平年より7日早く～

5月29日、高松地方気象台より四国地方は梅雨入りしたとみられると発表がありました。これは、平年に比べ7日、昨年より13日早い梅雨入りになるそうです。(高知新聞5/30付)

梅雨がはじまり、雨が多くなります。

6月6日は、二十四節気の「芒種(ぼうしゅ)」です。芒種とはイネやムギなど穂の出る植物のたねをまくころ、という意味で、穂先にある針のようなとげを「芒(のぎ:ぼう)」というそうです。

梅雨に入り、雨ばかりで外で遊べなくてつまらないこともあります。カエルの声に耳をすませたり、カタツムリやオタマジャクシなどを見つけたり、この時期ならではの生き物をさがすのもおもしろいですね。また、きれいな川がある村内では、5月27日の『亀ノ川地区・ほたる祭り』で見られたような美しく光るホタルを見つけることができます。

参観日・個人面談等における室内履きシューズ持参のお願いについて

学校では、日頃から緊急避難時における備えとして『職員も児童も、必ず上履きを履いて行動する』の取り組みを行っています。そこで、保護者のみなさんにも同じように、緊急時に備え対応して頂きたいと考えています。今後も、参観日・個人面談等で来校の際には、各自で室内履きシューズを準備・持参して頂きますようご理解・ご協力をお願いします。なお、新たに購入される必要は全くありませんので、ご承知くださいますようお願いいたします。(従来通りに学校用スリッパも使用できます。)

5月30日、全校児童が、起震車体験を実施しました。



1・2年生



3年生



4年生



5年生、6年生

学校で……子どもたちは、傘はたたんで、傘立てにおくようにしています。

傘をたたむことによって、自分や友だちの傘の出し入れがスムーズにできます。また、自分の傘や、友だちの傘で、引っかけたり、傷めたりするのを防ぎます。つまり、自分にとってプラスになることは、友だちにとってもプラスになります。

学校以外の場所でも、自分の傘をていねいに片付けることができるようになるといいですね。

学校で……子どもたちは、はきものをそろえるようにしています。

「はきものをそろえる」ということは、みんなの「心もそろえる」ということ。音楽室や図書室、他の特別教室の前で脱いだ上履きや使用したトイレのスリッパも、自分できちんとそろえられるようにしましょう！



6月1日、体育館で折り鶴朝会を行いました。…折り鶴朝会では、まず、5年生より広島市の平和公園内にある「原爆の子の像」がつくられるもとになった、佐々木禎子さんと折り鶴の話がありました。次に、縦割り班になり上級生が下級生に鶴(めんづる)の折り方を教えながら、協力して鶴を折っていきました。今後、6/16(金)までの完成をめざして、朝会の時間や昼の時間を活用しながら全体を仕上げていきます。

一原爆症とたたかった佐々木禎子と級友たちー

戦争が終わって10年たった昭和30年(1955年)、佐々木禎子は、原爆による病で12歳の命を終えた。原爆のむごさと禎子の死、級友たちが平和祈願の象徴として「原爆の子の像」をつくった。そして、折り鶴が世界に広まっていった。折り鶴を手にかざした子どもたちの下にある御影石の碑には、下記のことばが刻まれています。

これは、ぼくらの叫びです
これは、わたしたちの祈りです
世界に平和をきずくための

原爆の子の像

